

浸水想定区域 (想定最大規模※)

淀川水系河川：神崎川、中島川、左門殿川、庄下川、旧左門殿川、昆陽川、上坂部川、伊丹川、昆陽川捷水路、富松川、旧猪名川、猪名川、空港川、藻川

蓬川水系河川：蓬川

この洪水ハザードマップは、淀川水系・蓬川水系の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※想定最大規模とは「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。なお、実際の災害では想定されていない区域が浸水したり、想定とは異なる結果になる場合があり、注意が必要です。

このマップは以下の浸水想定区域図を示したものです
洪水浸水想定区域図 (想定最大規模降雨)
(令和元年5月)
〔作成主体〕兵庫県

想定雨量

このマップの浸水想定条件

神崎川系統は
9時間で392mm

庄下川系統、蓬川は
6時間で471mm

浸水が想定されていない場所も、
色のついていない場所も
注意が必要です。

- 凡例

 津波等一時避難場所

 指定避難場所

 福祉避難所

 市役所

 地域振興センター

 警察署

 消防署

 救急告示医療機関

 ヘリ到着場

 水門

 水防倉庫

 ポンプ場等

 下水処理場

 水位観測所

 防災行政無線

 地下街等 (駐車場、商業施設)

 地下道・アンダーパス

想定される浸水深

10.0m～20.0m未満

5.0m～10.0m未満

3.0m～5.0m未満

1.0m～3.0m未満

0.5m～1.0m未満

0.5m未満

家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋倒壊 (氾濫流)

家屋倒壊 (河岸侵食)

一定の条件下において、家屋の倒壊・流失をもちうるような浸水深度に及ぶと想定される区域。

想定される浸水深

浸水の深さ

10m～20m

3m以上浸水

5m～10m

2階建より上まで浸水

3m～5m

2階軒下浸水

1m～3m

1階軒下浸水

0.5m～1m

床上浸水

～0.5m未満

避難も危険

色のついていない場所も浸水する場合があります。注意して早めの避難を心がけましょう。

尼崎市では災害が発生したときのために、次の避難場所を定めています。

津波等一時避難場所

とは津波・高潮・洪水等が発生したときに、津波警報や避難情報が発令されたときから解除されるまでの間、一時的に避難できる場所です。公共施設のほか、民間等の建物所有者にご協力をいただけて指定しています。

指定避難場所

とは災害により住まいを失った場合や、災害発生後に災害の危険がなくなるまで中長期に渡って避難生活をする場所です。

福祉避難所

とは災害時に支援が必要な要配慮者 (災害時要援護者) に配慮した避難場所です。
(災害時に必要に応じて開設する2次の避難所で、基本的には最初から利用することはできません。)

日頃から自分自身の避難しやすい避難場所を確認しておきましょう。

避難先を
考える

 避難経路を
確かめる

避難先を
考える

 避難経路を
確かめる

歩行の目安

硬貨を使ってマップ上でおおよその距離と時間をはかってみましょう。

マップ上でおおよその距離・時間をはかる

10円玉1枚で
約400m

23.5mm

10円玉1枚で
約14分

歩行困難者・乳幼児等
毎秒約0.5m

約7分

毎秒約1.0m

※歩行速度は、総務省消防庁「津波避難対策推進マニュアル検討会報告書」を参考に算出しております。

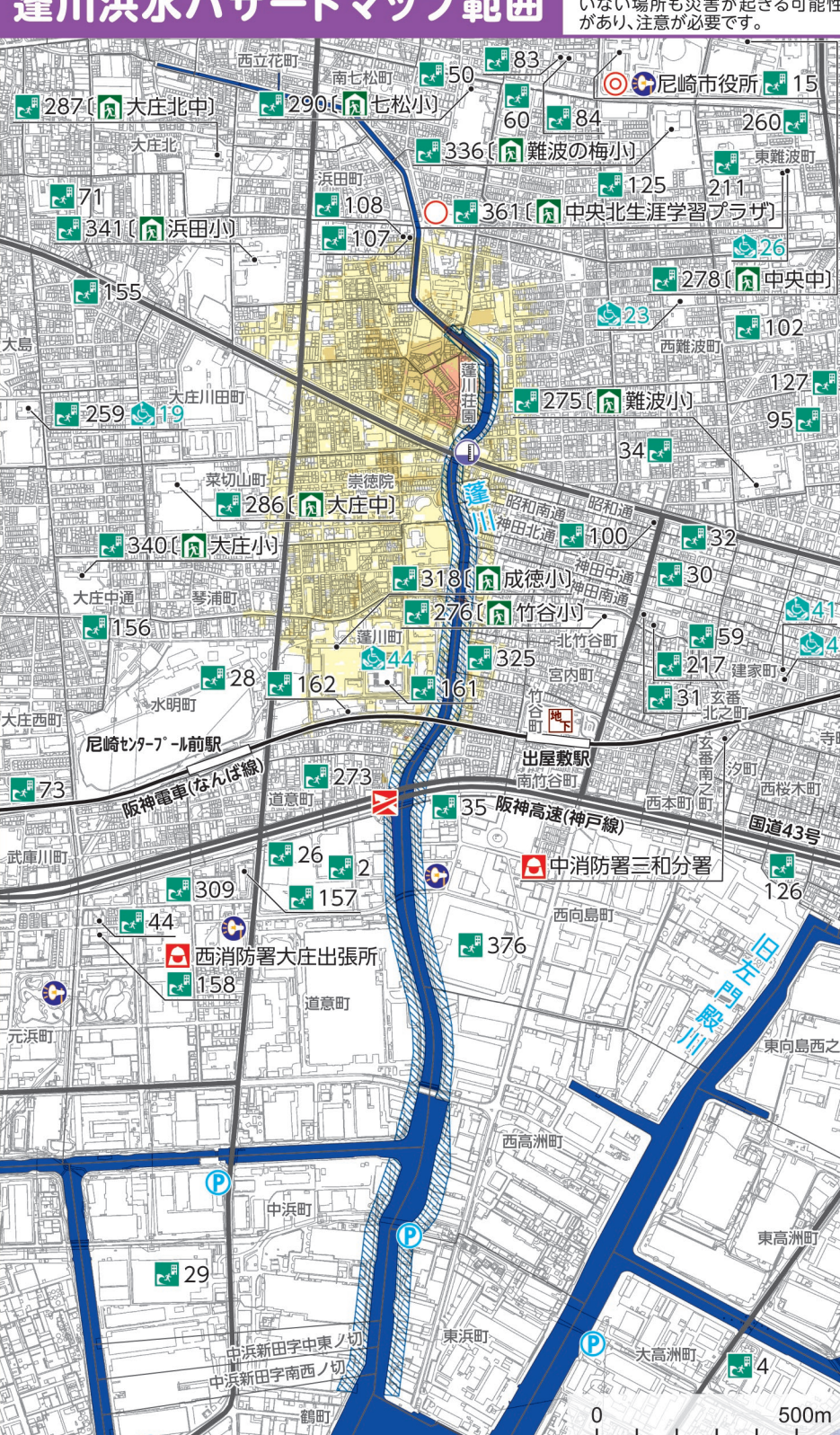
庄下川系統と神崎川系統

庄下川系統の河川

神崎川系統の河川

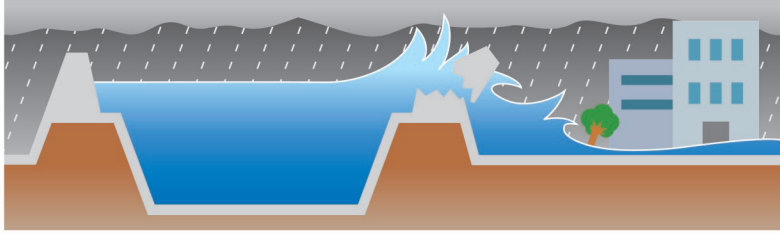
蓬川洪水ハザードマップ範囲

浸水想定されていない色のついていない場所も災害が起きる可能性があります。注意が必要です。



洪水 (外水氾濫) とは

大雨により河川の堤防が壊れたり、堤防から水が溢れたりして発生する浸水です。



家屋倒壊の恐れ

自宅のある場所が下記のようなエリア内であれば、原則 (自宅の外へ) 立退き避難が必要です。

氾濫流

流速が早いため、木造家屋は倒壊する恐れがあります

河岸侵食

地面が割れ家屋は建物ごと崩落する恐れがあります

避難判断となる河川水位について

尼崎市の避難判断の発令基準については、淀川水系は小戸観測所、武庫川水系は甲武橋、小曾根観測所を基準としています。

氾濫危険水位

氾濫注意水位

普段の水位

水位	河川名 (水位局名)	淀川水系 (小戸)	武庫川水系 (甲武橋)	武庫川水系 (小曾根)
氾濫危険水位		4.00m	5.20m	6.00m
避難判断水位		3.40m	4.10m	4.70m
氾濫注意水位		2.50m	3.20m	4.00m

自宅のある場所が下記のようなエリア内であれば、原則 (自宅の外へ) 立退き避難が必要です。

氾濫流

流速が早いため、木造家屋は倒壊する恐れがあります

河岸侵食

地面が割れ家屋は建物ごと崩落する恐れがあります

避難判断となる河川水位について

尼崎市の避難判断の発令基準については、淀川水系は小戸観測所、武庫川水系は甲武橋、小曾根観測所を基準としています。

氾濫危険水位

氾濫注意水位

普段の水位

水位	河川名 (水位局名)	淀川水系 (小戸)	武庫川水系 (甲武橋)	武庫川水系 (小曾根)
氾濫危険水位		4.00m	5.20m	6.00m
避難判断水位		3.40m	4.10m	4.70m
氾濫注意水位		2.50m	3.20m	4.00m

「避難指示」の発令判断の目安となる水位

「高齢者等避難」の発令判断の目安となる水位

水防団が動員に備え準備を行い、氾濫に対する注意喚起を行う水位

河川ごとの水位情報については、下記のページで確認することができます。

国土交通省 河川の防災情報

尼崎市 各地点の水位



【発行、問い合わせ】

尼崎市 危機管理安全局 危機管理安全部 災害対策課

〒660-8501 兵庫県尼崎市東七松町1丁目23番1号

電話番号：06-6489-6165 FAX番号：06-6489-6166